

平成29年度学校評価〔自己評価〕（北海道上士幌高等学校）

評価基準 A：十分である B：概ね十分である C：やや不十分である D：不十分である

分野・領域	評価項目	保護者	教職員	評価	昨年度との比較および改善の方策
学習指導	1 個に応じた学習指導を行い、基礎・基本の定着を図っている	3.17	2.95	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問3における保護者評価の平均値が0.26アップした。</li> <li>・授業におけるペアワーク、グループワークを積極的に活用するなど、生徒の学習意欲や関心を高める工夫を続ける。</li> <li>・考查ごとに学習指導の内容と成果に関する評価と改善を繰り返し分かる授業づくりに努める。</li> <li>・生徒間の学力差に対応するため、英語と数学における習熟度別授業導入の是非を検討する。</li> <li>・学力差に応じた学習課題の作成と活用に向けた校内研修を行う。</li> <li>・町との連携も含め、放課後学習のシステムを再構築する。</li> </ul>
	2 生徒の特性や進路希望に応じた学習指導により、学力の向上を図っている	3.10	2.84	B	
	3 課題等により生徒の家庭学習の習慣化を図り、生徒が自主的に学ぶ力を育てようとしている	3.06	2.47	C	
	4 学習指導要領に則った授業改善（観点別評価を含む）を進めている		2.94	B	
生徒指導	1 日常的に行動観察や面談・相談等を通じて生徒理解に努めている	3.45	3.41	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問5における教職員評価の平均値が0.32アップした。</li> <li>・日常的に生徒と関わる時間の確保に向けた業務整理を全分掌等で計画的に行う。</li> <li>・新入生に部活動体験を奨励し加入率の向上と部の活性化を図る。</li> <li>・部活動や委員会活動、生徒会行事等において生徒の自主性と主体性を育てる意図的な指導を展開する。</li> </ul>
	2 日常的に挨拶指導や身だしなみ指導を継続して行っている		3.37	A	
	3 生徒会活動や部活動を通して、生徒が自ら判断して行動できる力を育てようとしている	3.20	3.00	B	
	4 集団の一員として責任を果たし、また、互いに協力して助け合う姿勢を育てようとしている	3.16	2.89	B	
	5 いじめの根絶や問題行動の未然防止に向け、きめ細かな指導を行っている	3.24	3.21	A	
進路指導	1 面談等で自己理解を深めさせ、能力や適性に応じた進路目標を設定できるよう指導している	3.20	2.95	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問3における教職員評価の平均値が0.21ダウンした。</li> <li>・生徒が進路行事相互の関連性を意識しながら3年間を見通して進路学習に取り組めるよう、進路行事の配列を見直し、系統的な進路指導を展開する。</li> <li>・卒業までに少なくとも一つの検定合格を全員に達成させ、継続して努力することの価値と努力が実る喜びを体感させる。</li> </ul>
	2 社会人講話、模擬面接、職業体験(インターシップ)等を通じ、キャリア教育を進めている	3.28	3.37	A	
	3 各種検定・資格取得を奨励し、キャリアアップを促進をしている	3.27	2.68	B	
	4 3年間の系統だった進路指導を分掌主導で展開している		2.53	C	
健康安全指導	1 生と性に関わる講話等を通じ、生徒の健全な心身の育成に努めている	3.12	3.37	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記3点と異なり、保護者評価の方が教職員評価より低い。</li> <li>・5つの大項目の中で「よく分からない」が一番多かったこともあり、HPや通信で事後の成果等に関する情報提供に努める。</li> </ul>
	2 避難訓練や交通安全講習会、薬物乱用防止講話等を通じ、安全・防災教育に努めている	3.20	3.42	A	
	3 日常の清掃活動や委員会活動を通じ、公共心や環境保全の意識を涵養している		3.32	A	
学校運営	1 教職員間の報告・連絡・相談を密にした協働態勢により行動連携を図っている		3.05	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の評価と比べて、いずれも微差であった。</li> <li>・本校の重点目標を達成すべく、分掌・学年・教科の目標達成に向けた日々の教育活動を展開するという意識を強く持つ。</li> <li>・職員全体の学校運営に関する参画意識を高める。</li> </ul>
	2 本年度の重点目標、経営方針、教育計画と照らし合わせながら教育活動に取り組んでいる		2.84	B	
	3 教育活動の点検・評価を適切に行い、問題解決の道筋を共有して工夫・改善を図っている		2.89	B	
資質向上	1 相互参観後の授業研究や授業評価アンケート等を活用して授業力の向上を図っている		2.68	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問1は0.32ダウンし、設問2は0.35アップした。</li> <li>・授業評価に基づく教科単位の日常的な研修と教科横断的な授業研究により、授業のユニバーサルデザイン化を推進する。</li> </ul>
	2 教育公務員として、服務規律の保持に努めている		3.74	A	
開かれた学校	1 お便りの発行やホームページの更新等により、保護者や地域へ適度に情報を発信している	3.23	3.37	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設問1における教職員評価の平均値が0.35ダウンした。</li> <li>・地元の中学生に本校の長所を理解してもらう新たな取組を行う。</li> <li>・HPの構成(画面)および内容の充実を図る。</li> </ul>
	2 町職員・機関と連携した教育や公開授業により、開かれた学校づくりに力を入れている	3.32	3.37	A	